



「タブレットPCを持ち帰って」

副校長 廣野 寛子

6月に学校にある全てのタブレットパソコンを各家庭に持ち帰れるようにする設定が終わり、全児童に新しいIDとパスワードを発行し各ご家庭にお知らせしました。

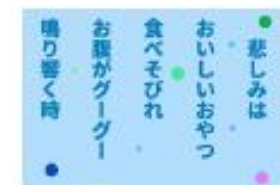
3年生以上の学年では新しいIDとパスワードを使ってログインする練習をし、6年生児童がまず学校の中で先行してタブレットパソコンを各家庭に持ち帰りました。

教員から出された最初の課題は、タブレットのカメラ機能を使い、家にある自分の宝物の写真を撮ってくることでした。学校では撮った写真をもとにロイロノートというソフトで画像を共有し、クラス内で情報交換をして交流しました。家族以外の人に見せてはいけない個人情報や見た人を傷つけてしまうことがないか十分に注意して自分や友達の情報を扱うことは、これからSNSなどで発信する際の適切な態度を養うことにもつながります。

教員が期待していた以上の成果があり、6年生では国語の学習と関連した短歌づくりや動画の作成など、児童の発達に合わせた課題を出していく予定です。

今後3～5年生が順次持ち帰り、まず使い方の練習をする予定です。

一人一台のタブレットパソコンが教科書やノートと同列の文房具になる日も近いと思われます。ただ、お礼や挨拶の手紙を書いたり、忘れないようにメモを書いたり、自分の考えを整理するために紙に書き留めたりするなど、私たちの暮らしから「紙」を使って伝えたり考えたりする文化は廃れることなくずっと続いていくのかもしれませんが。



＜6年生の作品＞
上段：これが宝物
下段：短歌・俳句等
リズムに合わせて